

再評価結果(令和6年度継続箇所)

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	重要物流道路 一般国道308号 宝来ランプ	事業区分	一般国道	事業主体	奈良県
起終点	奈良県奈良市宝来町	延長	0.5km		
事業概要	<p>一般国道308号は、大阪市から奈良市に至る延長約35.1km(奈良県域約16.4km)の主要幹線道路である。宝来ランプは、奈良方面から第二阪奈道路を利用する際、高架部から宝来ランプに乗り入れできない状況であることから、高架部から第二阪奈道路に直接乗り入れできるよう、側道部の延長約0.5kmを立体交差として整備するものである。</p>				
H25年度事業化	S8年度都市計画決定 (R2年度変更)	R3年度用地着手	工事未着手		
全体事業費	約17.8億円	事業進捗率	約11%	供用済延長	— km
計画交通量	13,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 12.6/14.9億円 (事業費:12.5/14.8億円 維持管理費:0.1/0.1億円 更新費: / 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 19.3/19.3億円 (走行時間短縮便益:9.0/9.0億円 走行経費減少便益:8.8/8.8億円 交通事故減少便益:1.5/1.5億円)	基準年	令和5年
感度分析の結果	<p>(事業全体)交通量 : B/C=1.2~1.4(±10%) (残事業) B/C=1.4~1.7(±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4(±10%) B/C=1.4~1.7(±10%) 事業期間: B/C=1.3~1.3(±20%) B/C=1.5~1.6(±20%)</p>				
事業の効果等	<p>① 第二阪奈道路のアクセス性の向上 ・側道部を経由せずに高架部から第二阪奈道路を利用することが可能となり、側道部の慢性的な速度低下緩和が見込まれる。</p> <p>② 交通安全性の向上 ・高架部から第二阪奈道路に乗り入れ可能となることで、高架部から側道に降りる車の数が大幅に減少することが見込まれ、側道の安全性向上が期待される。</p> <p>③ 地域産業の活性化、観光振興 ・大阪方面との移動が必要となる経済活動においては、アクセス性が向上し、物流の速達性・定時性向上や観光客の利便性向上が期待される。</p> <p>④ 緊急輸送道路ネットワークの機能強化 ・一般国道308号高架部から第二阪奈道路へ直接乗り入れが可能となることから、防災機能の強化が期待される。</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>奈良市の奈良国際文化観光都市建設審議会において大和都市計画道路の変更について原案のとおり了承(R3.1)されている。</p>				
事業評価監視委員会の意見	<p>対応方針(原案)は妥当である。奈良県公共事業評価監視委員会:令和5年10月30日</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>一般国道308号宝来ランプ近傍において、近鉄西大寺駅南土地区画整理事業が行われ、今後さらなる宅地の利用の増進が見込まれる。</p>				

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和3年3月に都市計画変更し、令和3年度から、地質調査や道路設計を実施しており、現在、高架化する橋梁詳細設計を進めるとともに、工事中の周辺地域に与える影響を考慮した施工計画を検討しているところ。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

買収箇所が現況と相違していることから、土地所有者等と筆界確認を行い、地図訂正を進めている。

施設の構造や工法の変更等

建設発生土を有効利用する等により、コスト縮減に努めていく。

詳細設計を行っていくうえで、施工期間の短縮及び橋梁構造の見直し等について、コスト縮減に努めていく。

対応方針

継続

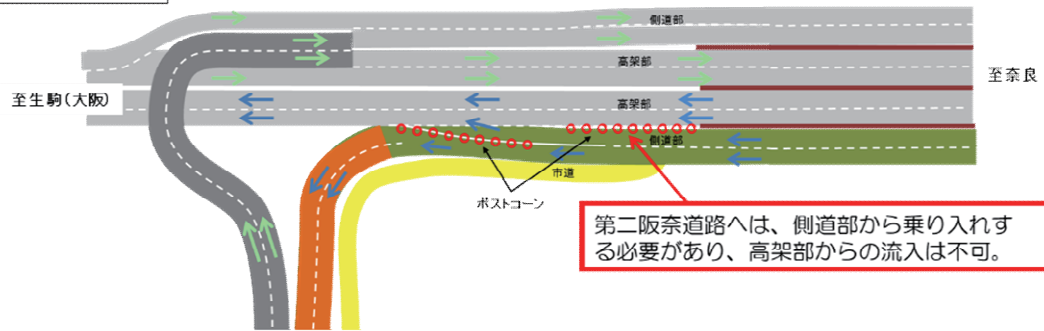
対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

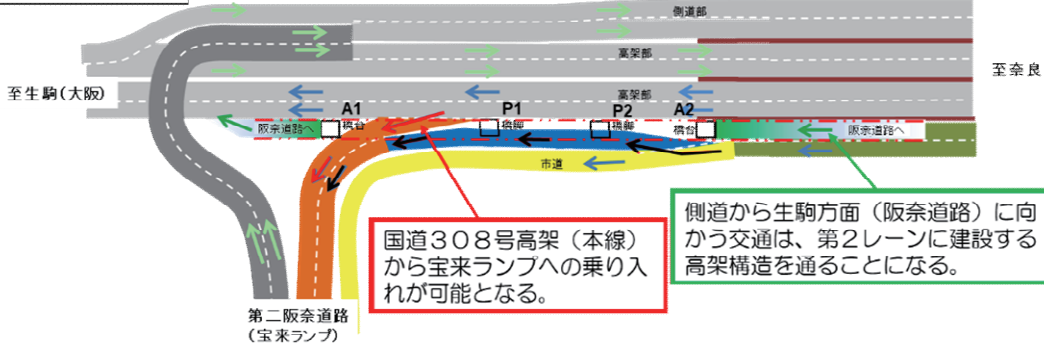
事業概要図



現道の交通イメージ



整備後の交通イメージ



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。